

# 双 ひつじサミット尾州 ビシユウ

着れる、食べれる、楽しめる！ひつじと紡ぐサステイナブル・エンターテイメント

プロジェクト双ガイドブック

# ひつじサミット尾州は工場見学を中心に、 地域をまるごと楽しむオープンファクトリー

紡績 / 撚糸



織り / 編み



染色整理



縫製



その元となる羊と羊飼い



文化を支える喫茶店 / 料亭



街全体を”会場”にして、自由に周遊できるように設計



# 5つの目標を定め、どれか一つに絞り込むのではなく、 どれか一つでも共感できる方と緩く繋がることを意識

## ①「産業観光」を通して、使い手と作り手をつなぐ

繊維産業が育んだ歴史と文化を観光資源とし、消費者と生産者に「ありがとう」の循環を回す。

## ②繊維産業だけに閉じず「地域共創」する

グルメやエンタメも含めた多様な地域内企業が連携し、同時多発的に交流イベントを行う。点ではなく面で発信することで、発信力・認知度を増し、地域内に留まらず、地域外の人呼び込み、地域の活性化に繋げる。

## ③他地域とも連携し、「持続可能性」を楽しく学ぶ

尾州の中心的素材である「ウール」は、再生可能で、海洋汚染もないサステイナブル素材。その元となる「ひつじ」をコンセプトとし、全国の羊関連事業者&ファンと連携し、五感で持続可能性を感じてもらう。

## ④「事業承継」のイメージを革新する

アトツギが中心となってゼロからイベントを実施することで、「跡を継ぐってカッコわるい / 損する」という古い風潮から、「跡を継ぐってカッコいい / やりがいがある」という新しいムードを醸成する。

## ⑤次世代に知ってもらい、「担い手育成」する

地場産業の認知度を高め、魅力を発信することで、若い人材のUターン / Iターンを促進し、優秀な作り手を増やす。

# 繊維関連企業にとどまらず、 たくさんの応援を受けて実現へ

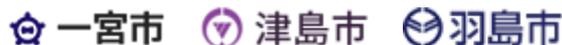
## 実行委員会

11人のアトツギから始まり、現在は  
様々な企業から多様な仲間が集結



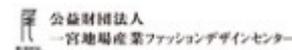
## これまでの後援例

県や市を超えて広域で連携し、  
国（経産省）も後援



## これまでの協賛協力例

大手繊維商社や地域金融機関など  
多種多様な企業が活動をサポート



言葉だけだとイメージがわからないと思うので  
ショートムービーをご覧ください



# 3年間でのべ5.5万人を動員する一大イベントへ成長 少しずつだがファクトリーブランドも立ち上がり中

	開催日数	ゲスト動員数	ファクトリーブランド等の 売上金額
2021年	<b>4日間</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・プレ開催6/6 - 6/7</li><li>・本開催10/30 - 10/31</li></ul>	<b>のべ1.5万人</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・内、オンライン3,200人</li></ul>	<b>約1,300万円</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・事前POPUP200万円含む</li></ul>
2022年	<b>2日間</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・本開催10/29 - 10/30</li></ul>	<b>のべ1.6万人</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・内、オンライン1,200人</li></ul>	<b>約1,000万円</b>
2023年	<b>2.5日間</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・本開催10/27 - 10/29</li></ul>	<b>のべ2.4万人</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・津島市駅前イベント追加</li></ul>	<b>約850万円</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ向けマスクなど 特需の需要減</li></ul>

# ひつじサミット尾州がきっかけで、 人気ブランドとのコラボ商品も開発



# JR東海とコラボして、観光庁の補助金を活用し、 インバウンド向けプロジェクトにも着手

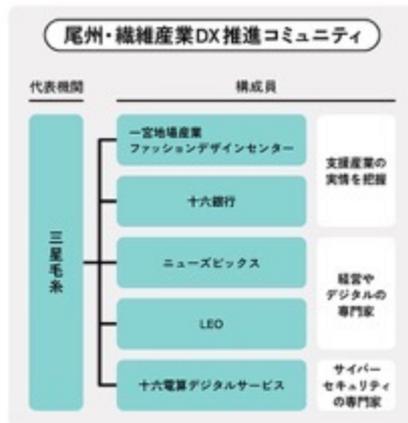


ツアー、グルメ、お土産の3項目  
にわたって、外国人材の意見も  
取り入れながら、新たなコンテ  
ンツ造成にチャレンジ！

# 作り手同士の信頼関係がアップデートされ、 経営課題≡DX推進をとともに進めるプロジェクトへ派生



尾州・繊維産業  
DX推進  
コミュニティ



- | <メインメンバー>  | <オブザーバー>  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>長谷虎紡績</li> <li>伴染工</li> <li>中伝毛織</li> <li>國島</li> <li>宮田毛織</li> <li>渡六毛織</li> <li>三星毛糸</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ソトー</li> <li>艶清興業</li> <li>トヨシマビジネスシステム</li> </ul> |



多くのメディアに取り上げていただき、  
全国に「尾州の認知」が広がった

NHK



TBSラジオ  
FM90.5 + AM954

J-WAVE 81.3FM

ZIP-FM 77.8

CBCラジオ

60th  
メ〜テレ



中日新聞

岐阜新聞

中部経済新聞

OCEANS

FASHIONS NAP

Begin

ツギ/ジョイ

織研新聞



日刊工業新聞



さまざまな活動が認められ、  
2023年には業界最大の新聞社から表彰を受ける



地元一宮市長に  
受賞報告した様子は  
中日新聞に掲載！

# ゲスト（使い手）の声、参加事業者（作り手）の声を受け、 2024年も**10月25日（金）～27日（日）**に開催予定！

普段見られない機械など、実際の工程を見たり、体験ができて、服作りのことを知れた。これからは服を大切にしようと思う。

職人さんに親切に案内してもらってよく分かった。家族みんなで楽しめたと、子どもにとっても良い経験になったと思う。

街の中で色々なイベントを回るのが楽しかった。地元を誇りに感じた。

ウールについてこんなに深く知ったのは初めてだが、サステナブルな社会に必要なものだと感じた。



自分達の仕事を一般の人に知ってもらって嬉しい。これからも頑張ろうと元気をもらえた。

普段と違う仕事が出来て面白かった。お祭りみたいで楽しかった。

これまで、企業名は知っていても、産地内で一緒に何かやるということがなかったので、皆で協力してイベントを開催できて良かった。

正直、最初は積極的に取り組んでいなかったが、やってよかった。次もやりたい。

## 結びに変えて

ウールを中心とした繊維産業で栄えた街、尾州。  
そう、あえて「栄えた」と過去形に。

日本の近代化や戦後の復興を支えた誇りを胸に、  
過去を懐かしむのではなく、  
未来を新たに紡ぎ出すために、  
今、あらためて点と点を結ぶ。

使い手と作り手の分断されてしまった現代において、  
産業観光は最高に刺激的でクリエイティブな旅だ。

作り手と作り手、使い手と作り手、  
毛糸のように、  
僕らは回り道をしながら繋がっていく。

ひっじ  
サミット  
尾州 